

職員研修「回復期病棟について」

7月初旬に全職員を対象として東田常務に職員研修を行っていただきました。「回復期リハビリテーション病棟で行われるチーム医療の展開方法と考え方」というテーマで出来る限り多くの職員に研修を受けてもらえるように複数回にわたって行われました。

「回復期リハビリテーション病棟」、「地域包括ケア病棟」、それぞれの役割や目的を理解したうえでそれを達成するためにどのようなアプローチを行っていくべきか、どのようにして現在の24時間365日体制の病棟ケアが生まれたのか等を開院当初の状況を交えながらわかりやすくお話していただきました。院内で日常的に行われているリハビリ内容や院内設備にも全て意味があり、長きにわたって諸先輩方が作り上げてきたシステムの上に成り立っていることを再確認することができました。「故きを温めて新しきを知る」という言葉があるように今後も病院理念である「患者さん中心の良質な医療の推進」を念頭におき、回復期リハビリテーション病棟を有する病院の職員として変革を恐れることなく業務に励んでいきたいと思っております。



部署紹介 総務部-システムエンジニア編-

こんにちは！小松島病院SE（システムエンジニア）の稲井です。ところで、SEって何だかわかりますか？「あ〜プログラム作る人だね」って思った人、惜しい。プログラムだけ作る人はプログラマーっていいです。じゃあSE、って何する人なの？ってなりますよね。システム全体を担う人です。例えば、飛行機とかのプラモデルを想像してください。プラモデルには、たくさんパーツと設計図が入っています。これらを考えたり、つくったりする人がシステムエンジニア。設計図を見て飛行機を組み立てる人がプログラマーです。犬の犬種が様々あるようにシステムエンジニアも役割（職種）によって呼び方が変わります。PL, PM, ブリッジSE, 社内SEです。で、僕はというと、社内（院内）SEになります。病院内の情報システム全般を幅広く担当しています。



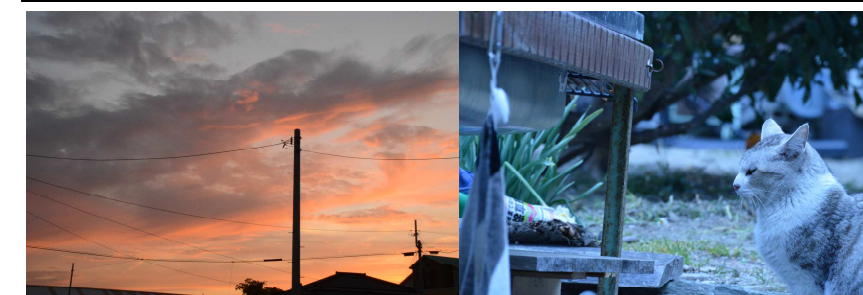
院内SEの主な仕事はというと、大きく分けて2つあります。「ヘルプデスク作業」と「システムの保守・管理」です。ヘルプデスク作業とは、病院内にあるパソコンやサーバの修理や、電子カルテの操作方法などのサポート、プリンタのトナーの交換など機器の「困った！」に対応しています。また、システムの保守・管理は、電子カルテの機能の追加や保守点検、業者との仲介に入り要望を伝えたりしています。他のSE職と違うのは、システム開発がほとんどないということです。（あっ、でも僕自身、全くプログラムができないわけではありませんよ。こう見えても20代の頃は下顎運動測定データを3D表示させるプログラムを作っていました。）

小松島病院では、2022年7月に電子カルテが導入されて、はや1年が経とうとしています。導入当初は職員（私も含め）のほとんどが電子カルテ初心者マークでしたが、患者様、地域の皆様の温かい励ましのおかげで2年目を迎えることができました。直接、患者様やご利用者様とお目にかかることはないと思いますが、先生や看護師さんの横でパソコンやプリンタをいじっていたら僕です）が、問題を1つずつ解決することで職員が円滑に業務を行えるよう支援しています。縁の下の力持ちのような存在になれるよう日々励んでいます。

保育所だより



グループホームだより



「自然が織りなすグラデーション」

「長考」

What is your hobby?

レンズをのぞいているとき「無の境地」になります。心の赴くままにシャッターを押しています。



総務部：稲井

リハビリトピックス



溝口 マサ子さん 祝100歳

当院通所リハビリを利用されている溝口マサ子さんが6月7日に100歳を迎えました。「よく食べ、よく寝るのが健康の秘訣」と語る溝口さんから私たちも元気を頂いています！これからもお体に気を付けていつまでもお元気でいてくださいね！